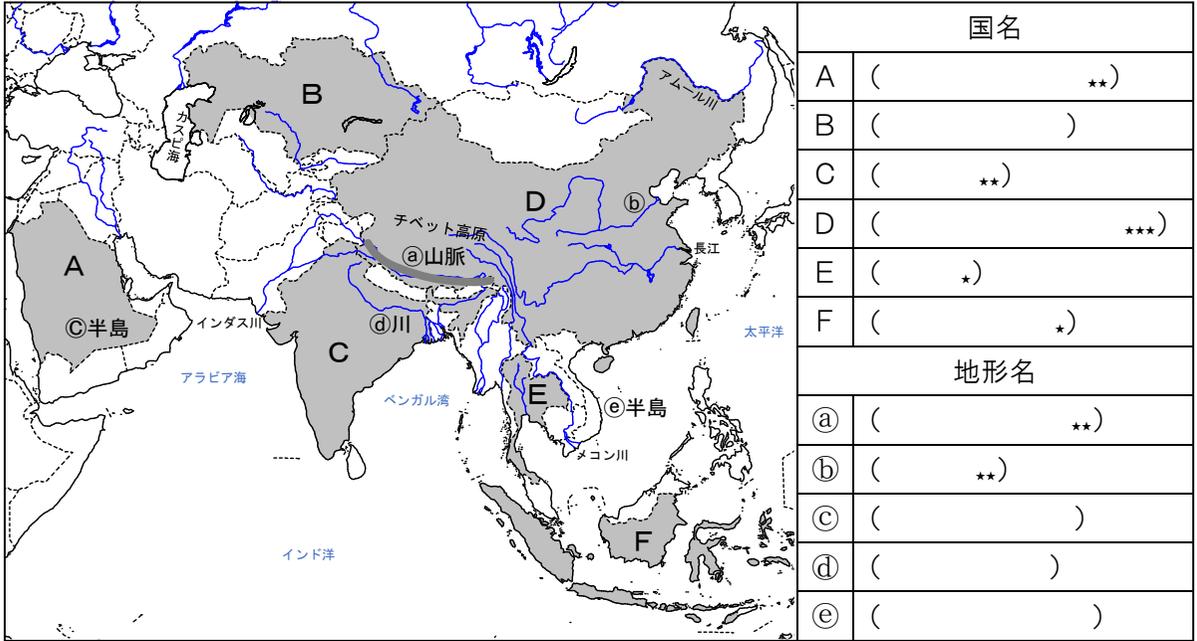


1 アジア州の自然環境

○ユーラシア大陸に広がるアジア



大陸の中央:()とチベット高原からなる高地
 →()や長江、メコン川、()、インダス川などの河川がつくる低地に都市が発展

- 西アジア:イラン高原や()などに砂漠が見られる
- 東南アジア:()と多数の島々
- 東アジア:中国を中心とする
- 南アジア:インドを中心とする
- 中央アジア:大陸の内陸部
- シベリア:大陸の北部

<世界の面積・人口に占めるアジア州の割合(2018)>

面積 1億3009万km ²	アジア 23.9%	ヨーロッパ 17	アフリカ 22.8	北アメリカ 16.4	南アメリカ 13.4	オセアニア 6.5

人口 76億3109万人	アジア 59.8%	ヨーロッパ 9.8	アフリカ 16.7	北アメリカ 7.6	南アメリカ 5.6	オセアニア 0.5

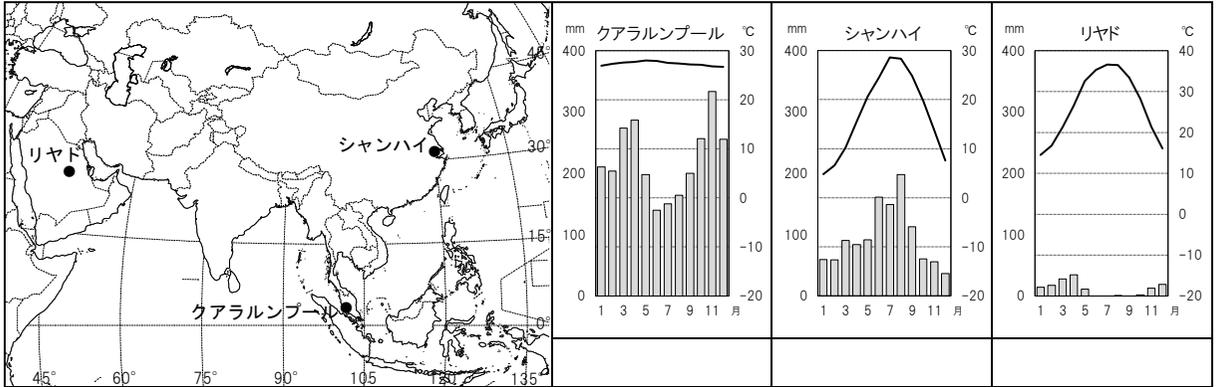
※ロシアはヨーロッパ州に含まれる

○季節が育むアジアの気候

アジア州の気候：五つの気候帯がすべてみられる

→赤道の近くは熱帯、緯度が高くなるにしたがって温帯、冷涼な亜寒帯・寒帯へと移る。西アジアから中央アジアにかけて乾燥帯も広がる

＜アジア州の主な都市の雨温図＞



大陸に位置する国々

→海からの() (***))によって降水量に違いが生じる

※()とは、季節によって吹く方向が変わる風のこと。夏は海から大陸に向かって風が吹き、冬は大陸から海に向かって風が吹く

南アジアや東南アジア

夏には海から湿った風が吹き、雨を降らせる→()

冬には内陸から乾いた風が吹き、雨が少なくなる→()

＜季節風(モンスーン)の風向きの変化＞

